

相談室（5）

Q 頭の良い人に馬鹿にされて、くやしいです。

A 中学校の内容は、まだ、「成績が良いから頭が良い」と言えるようなレベルではありません。

また、有名進学校に合格したからと言って、「頭が良い！」と評価するのもまだ早いでしょう。

ほとんどは、本人とその周囲の勘違いだと思われます。

君には少し失礼な表現もあるでしょうが、以下我慢して読んでください。

今の君は「頭が悪い」と言われる成績なのでしょう。

しかし、君を馬鹿にしているその子も、そんな調子で有名高校へ行っても、おそらく上位の成績は無理でしょうから、その高校ではすぐに君と同じ「頭が悪い」グループに入ってしまうでしょう。

つまり、今の君と同じ立場に立たされてしまいます。

だから、安心してください。(笑)

君は、ひょっとして、中学校の成績がその後もずっと影響すると思っていませんか？

中学校では、その子には成績では勝てないかも知れませんが、君が高校へ進学後に、その

悔しい気持ちを勉強に向けて頑張れば、三年後はどう逆転しているかわかりませんよ。

他の所でも書きましたが、中学校の成績はあくまでも中学校の段階での結果で、高校では自分に合った高校へ進学し、上位で気分良く勉強した子の方が良い結果を残し、希望の進路を手に入れることが多いように感じます。

何も行動を起こさないで、ただ「くやしい」だけでは今のまま何も変わりません。

今すぐに心を入れ替えることは難しいかもしれませんが、その気持ちを忘れないようにして、頑張るエネルギーにしてください。

「今は負けているが・・・」ですよ。

---

Q やる気が出ません。

A 出なさい！（笑い）

君一人では意思が弱すぎる、つまり心のパワーが足りないのでしょう。

そんな人は、自分以外の人の存在を意識し、その人のために頑張る、その人に負けな

いように頑張る、その方向でやる気を出す心の訓練をして下さい。

「たまにはお母さんに良い点数を見せてあげよう！」

でもいいですし、

「××君には負けたくない！」

でもいいと思います。

君の場合は、まずはそこから出発して下さい。

---

Q ネットでよく見る「・・・で東大に受かった」は信用できるか。

A うちの塾の高校生からも何度か尋ねられたことがあります。

直接見たことがありませんので、彼らの話からの推論になりますが、「誰もが可能」のような表現はちょっと問題があるなと思いますし、それはやはり無理でしょう。

「こうすれば東大に受かる」、これを読めば、何と言っても「東大」ですから、心を動かされる人が結構いるでしょう。

しかし、性格も能力も何も分からない相手に、いきなり「東大に受かる方法」を伝授する、やはり危うさは否定できません。

あとは、人それぞれ、各自の判断に任せるしかないと思います。

---

Q 高校生を教えるには、良い大学の出身者でなければ無理か。

A 教える高校生の学力や目標によっても違うでしょうし、出身大学だけで判断するのも危険ですが、大学受験を指導するのであれば、それなりに高いレベルの知識が必要です。

そして、受験問題に関する知識は、やはり難易度の高い大学へ行った人の方が豊富だと考えるのが普通だと思いますから、君の考えは間違っていないでしょう。

ただ、出身大学のレベルとは関係なく、その後の努力によって知識を身に付けた人もたくさんいますし、高校生はただ集めるだけで受験レベルの指導はできない学習機関もあると聞いていますので慎重に判断するべきでしょう。

いずれにしろ、大学受験を目指す高校生を教えるのは、そんなに簡単なことではありませんので、優秀な高校生ならば先生の力量を見抜いてしまうでしょう。

---

Q 高校を1, 2ランク下げれば良い大学へいけるのか。

A 良い大学へ行けるか行けないかは、君の目的意識の高さと努力、そして最終的には高校三年間で身に付けた学力次第であり、大学受験の準備ができる高校ならば、そのランクはあまり重要ではありません。

君はまだ中学生ですから説明が難しいのですが、勉強は上位で気分良く進めた方が、気持ちも乗りますし、意欲も高いレベルで維持できます。

逆に、下位だと、いろいろなマイナス要素が心の負担になりますので、心が不安定になりがちで、そのぶん持っている能力を発揮する妨げになってしまいます。

その心の負担は、レベルの高い高校ほど大きく、たとえば

中学校までは「頭が良い」と自他ともに認めていた自分が「頭が悪い」と認めざるを得ない。

それほど過酷なもので、心が耐えきれなくなると、たとえ能力があっても、場合によっては進級も危なくなりますし、大学受験どころではなくなってしまいます。

「この学校の生徒の多くが 別の学校へ行き、そこでもう少しゆったりとその学校で成績がいい状態で過ごせていたならばもっとのびたはずの子はいっぱいいるはずで・・・この学校へ来たために、挫折感を味わい、自分がダメだと思いこんでしまった子も多い・・・」

以上、中学生には少し厳しい内容だったかもしれませんが、これが現実だと思って、慎重に判断して下さい。

---

Q 子供をどうにかしてやりたいのですが・・・。

A ホームページ内の随所でお伝えしましたが、

「中学校では上位。進学校でも上位の成績を取り続け、さらに良い大学（難関大学）へ進学」

これは、普通の子には無理な要求と思って下さい。

また、「普通の子」とは、

中学校時代には上位1ケタの成績で地区でトップの県立高校へ進学、

しかしそこではなかなか思うような成績が取れない。

このようなケースも含まれると理解して下さい。

したがって、お子さん、ご両親共に、今もって「一流大学へ」の夢をお持ちならば、

あきらめなくてもいいですから、今はとりあえず、横に置いて下さい。

その気持ちが強い間は、試験を受ける度に

「あ〜、まだぜんぜんほど遠い・・・」

それでは、遠からず向上心がなえてしまいますし、本人が目的意識も失くしてしまうでしょう。

おそらく、お子さんは、授業の早さと難易度が予想以上だったために、入学当初からパニック状態が続いているのだと思います。

少しずつ少しずつ、学年順位などは無視して、自分なりのペースを作して下さい。

最終的には、大学入試に間に合えばいいのですから。

定期テストは、「欠点さえ取らなければいい！」程度に考えた方が気が楽ですし、順位など気にしないでください。

大学受験は、推薦入試以外では、内申点は重視されませんから。

私も、できるなら子供たち全員を希望の高校や大学へ進学させてあげたいと考えます。

特に中学校の内容は簡単ですから、少し無理をさせれば希望の高校や有名進学校に合格させることは、それほど難しいことはありません。

また、私のところは高校生コースもありますので、高校進学後にその無理を調整することも可能です。

それでも無理はさせません。

それは、進学校を取り巻く環境、高校内での過酷な現実さらされるのは他でもない子供たち自身だからです。

成績など気にしないたくましい子は別ですが、最近の子供たちは学校の成績、特に順位を気にします。

高校では、一度落ち込んでしまうと、場合によっては立て直すのに1年以上かかってしまいます。

その間に、自信を失ってしまえば、さらに大変な事態になるでしょう。

また、大学進学では、難易度が高くなればなるほど、子供たちの対応能力におのずと限界が見えてきますので、高校受験のような無理が通用しなくなります。

「やればやるほど伸びる」、これは、小中学校の簡単なレベルでの話で、大学受験ではよほどの学習能力がないとどこかの段階で伸びは止まってしまいますし、要領など、小手先の方法論だけで論じれるものではありません。

たとえ一流でなくても、マイペースでやっていれば届いたはずの大学が、無理をし続けたためにパニック状態になり、その大学さへも届かなくなる、ここ数年は、こうしたケースもかなり目立つようになりました。

長くなりましたが、どうかお子さんのペースに合わせて、今後の進路をお考えになって下さい。

